

シラバス（講義概要）

芸術工学基幹科目

芸術工学特論 A

前期・必修・2単位

Advanced Study of Arts and Design A

担当教員 長野真紀、安森弘昌、榮元正博、寺門孝之、見明暢、田口史樹、森岡希世子、萩原廣高、大内克哉

授業の目的と到達目標（学修成果）

＜授業目的＞芸術工学の基幹科目として、人類による自然界に対する考察を通して生み出されたかたちや空間を理解し、現代の科学技術と芸術文化を融合させた環境、アート、デザイン、メディアの専門分野の枠組み、その広がりや境界を再認識する。

＜到達目標＞表現の多様性と表現の技術を理解し、科学技術と芸術文化を融合する芸術工学の基礎となる専門知識を身につける。

授業計画の概要

自然界に潜む点・線・面・立体によって生み出される幾何学的構造の法則や製作技法、色、かたち、素材、空間構成の魅力を理論的に分析考察し、講義やワークショップによりデザインのプロセスを学ぶ。履修のまとめとして、未来社会が求める新しいかたちの文化生態的価値を仮説・考究する。

芸術工学特論 B

後期・必修・2単位

Advanced Study of Arts and Design B

担当教員 長野真紀、山之内誠、笹崎綾野、津田徹、山崎均、黄國賓、岡本弘毅、森山明子、金箱淳一、佐野浩三、谷口文保

授業の目的と到達目標（学修成果）

＜授業目的＞芸術工学の基幹科目として環境、デザイン、アート、メディア、造形、地域の歴史的展開と文化の諸相を理解する。現代の科学技術と芸術文化の創発と融合、多様な表現と創成、芸術工学が社会に果たす価値と意義について様々な分析と考察ができるようになる。

＜到達目標＞

- ・芸術工学の研究の視座と方法論を自らの研究テーマに適用し、新しい考え方や発想をひき出し、多面的に論じることができる。
- ・様々な研究領域の内容を理解し、積極的に討議に参画することができる。

授業計画の概要

本講義では、地域と環境、建築と自然、アートプロジェクト、デザイン思想、造形思考、ファッション、メディア表現、哲学など広範なテーマを取り上げる。各分野における専門の担当教員が理論的に分析考察し、アート、デザイン、居住環境、身体機能、ビジュアル表現、テクノロジーと人間と社会との関わり等について議論する。それぞれのテーマに対しては積極的な意見交換と討議を通じ、より深い理解を目指す。そして、研究に対する新しい知見を得るとともに、未来社会が求める新しい文化生態的価値を仮説・考究する。

人間と社会特論

前期・選択必修・2単位

Advanced Study on Human and Society

担当教員 見寺貞子、水口洋二、上條昌宏

授業の目的と到達目標（学修成果）

デザインの歴史と社会的な役割を理解する。また、デザインの実践を積み重ねてきた専門家の多様な視点を学び、高度なデザインの発想方法を理解する。

授業計画の概要

人間と社会のシステムの中でデザインが果たしてきた役割と幅広いフィールドを理解し、デザインの歴史と社会的な役割を理解する。多様なデザイン分野で先駆的な役割を果たしてきた専門家を招き、それぞれのデザインの魅力に触れるとともに、特徴のある視点を理解する。

芸術と文化特論

後期・選択必修・2単位

Advanced Study on Arts and Culture

担当教員 谷口文保、市野元和、下田展久、明和電機

授業の目的と到達目標（学修成果）

各講師の作品や専門分野の概要や魅力について理解し、その創造のプロセスやテーマについて認識を深める。各講師の作品や専門分野の概要や魅力について説明できる。現代の芸術文化の可能性や課題について論じることができる。

授業計画の概要

芸術文化に直接触れる授業である。表現意欲を刺激する魅力的な専門家を招き、それぞれの芸術の論点や活動を学び、創作や伝統の実践を理解し、受講生各自の創作活動や研究活動の豊かな糧とすることを旨とする。まずは担当講師の専門分野や作品について講義を行い、その理解をさらに深めるためにワークショップや現地見学を実施する。グループワークやディスカッションを適宜織り交ぜながら、体験的な深い学びを目指す。

科学と技術特論

2024年度開講・選択必修・2単位

Advanced Study on Science and Technology

担当教員 未定

授業の目的と到達目標（学修成果）

＜授業の目的＞デザインとアートの創造性と構想力を豊かに支える科学的知見と技術の可能性について考える。

様々な分野での表現の実践において、かたちと科学、素材・道具・技が生み出す魅力、社会のつながりについて、専門家の経験と新たな試みから学ぶ。

＜到達目標＞科学的知見と伝統的な技能から最新のテクノロジーまでの技術がもたらす表現の可能性を学び、それをデザインとアートにおける創造力に展開する力をつけ、表現と社会とのつながり方をとらえることができるようになる。

授業計画の概要

各分野で活躍する複数のデザイナーやクリエイターを招き、実践的講義とワークショップにより構成する。

講義とフィールドワークやワークショップを通じて、科学・技術と表現の広がりを実践的に学ぶ。